

全国・埼玉県学力・学習状況調査結果（H28・H29） 資料1

～第5次行田市総合振興計画「教育力の向上まちづくり指標」より～

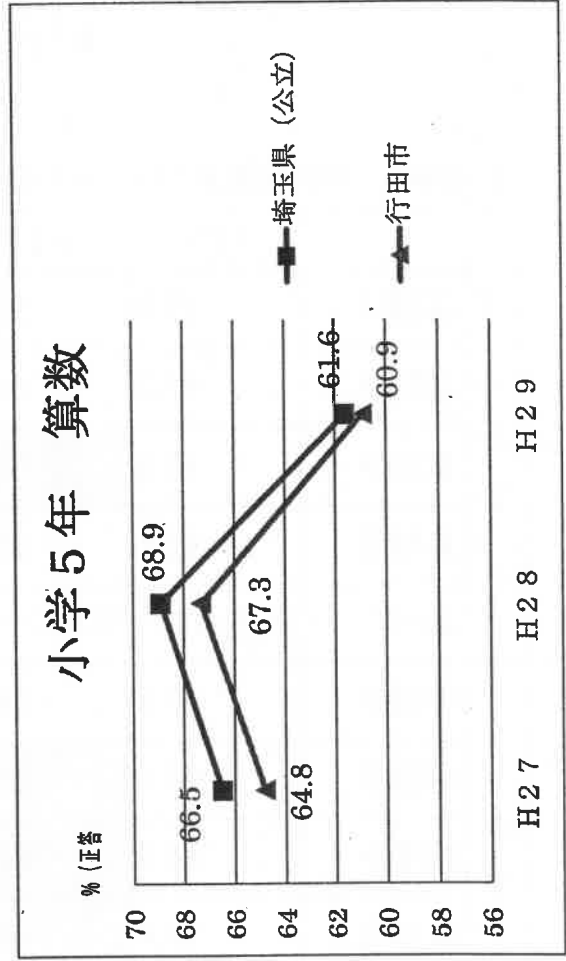
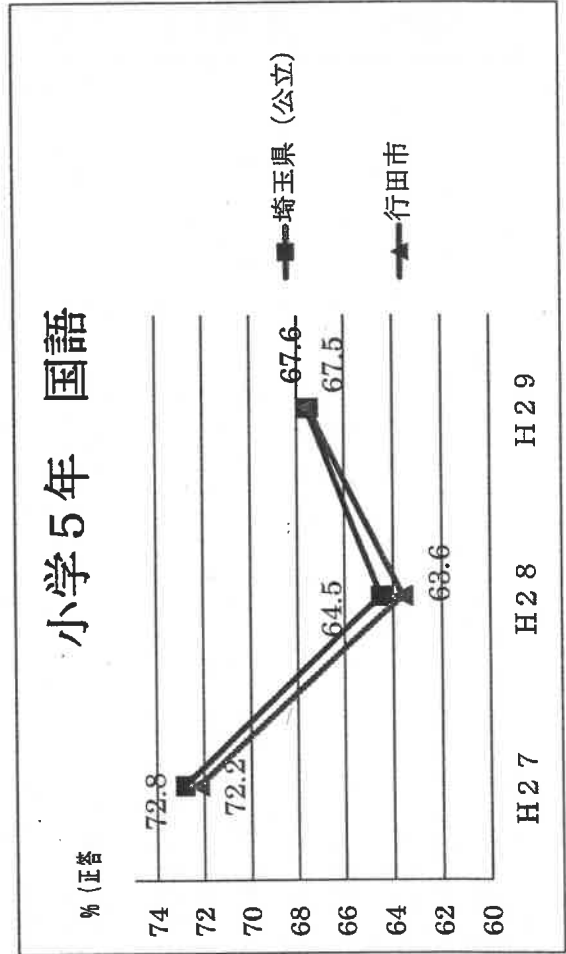
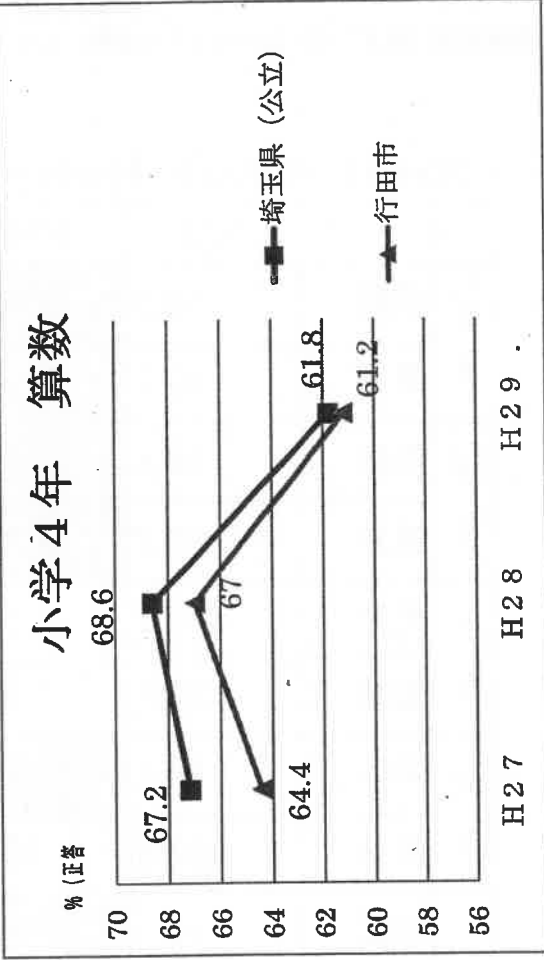
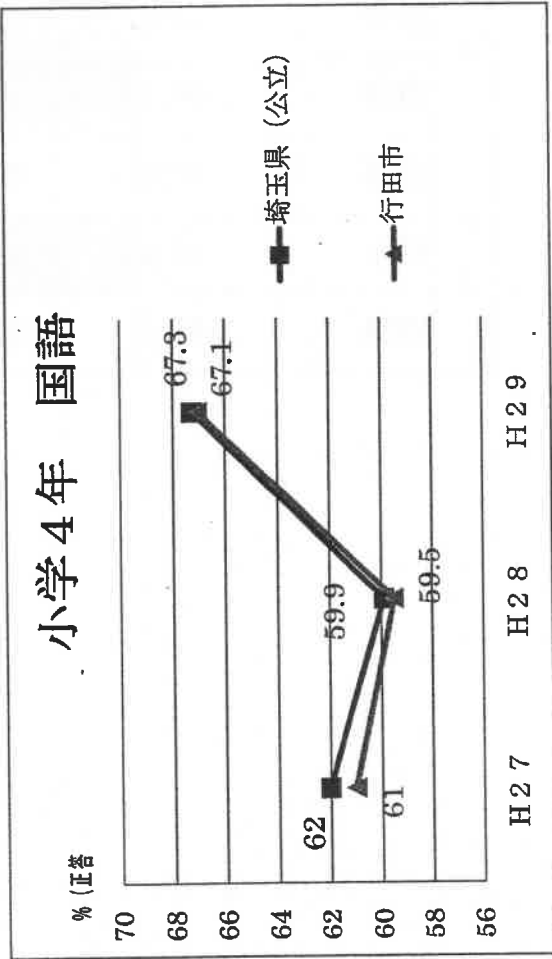
【全国学力・学習状況調査：県平均を100】

		H28	H29
小 6	国語 A	99.0	97.3
	国語 B	95.2	93.0
	算数 A	97.0	↗97.4
	算数 B	92.7	88.9
	理科	実施なし	実施なし
中 3	国語 A	97.5	96.1
	国語 B	95.6	↗97.2
	数学 A	94.5	↗95.2
	数学 B	92.4	↗93.8
	理科	実施なし	実施なし

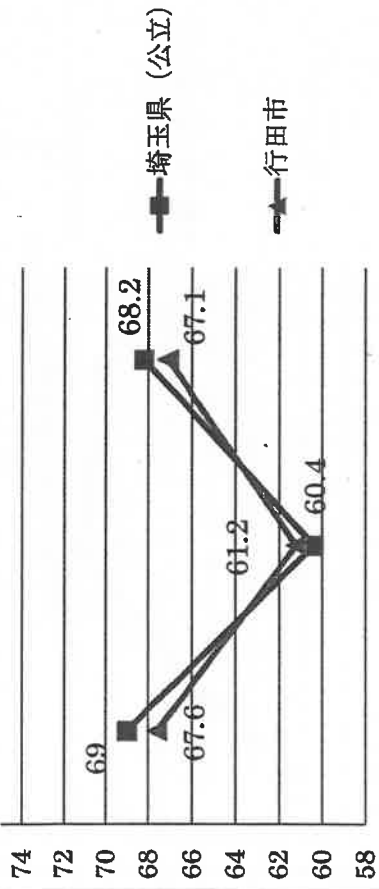
【埼玉県学力・学習状況調査：県平均を100】

		H28	H29
小 4	国語	99.3	↗99.7
	算数	97.7	↗99.0
小 5	国語	98.6	↗99.9
	算数	97.7	↗98.9
小 6	国語	101.3	98.4
	算数	98.6	98.6
中 1	国語	98.3	↗101.4
	数学	102.3	102.1
中 2	国語	96.7	↗97.6
	数学	97.8	↗98.4
	英語	96.7	↗98.0
中 3	国語	97.5	95.8
	数学	94.9	↗95.6
	英語	95.4	93.9

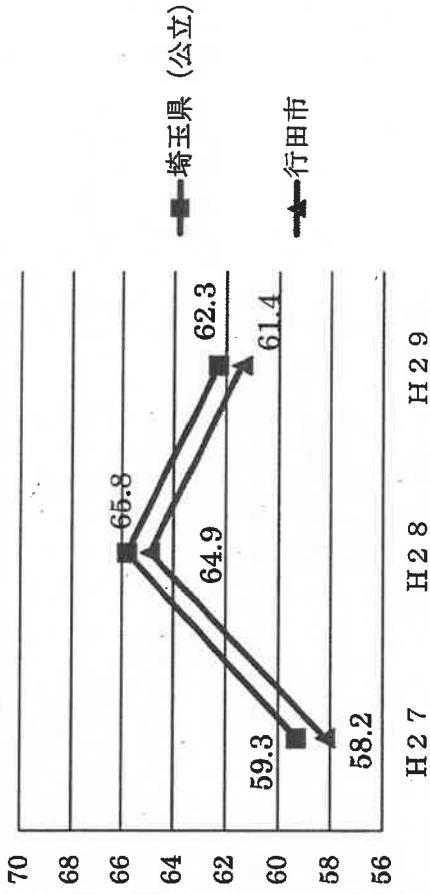
平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果について（平成27～平成29年度の比較）



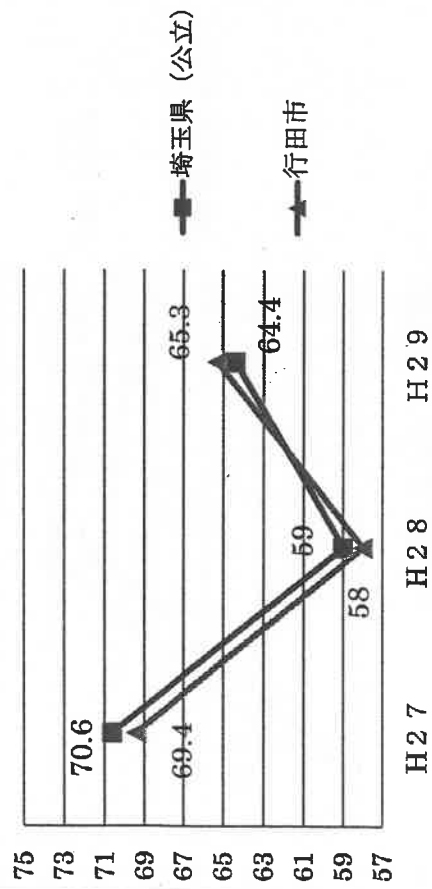
小学6年 国語



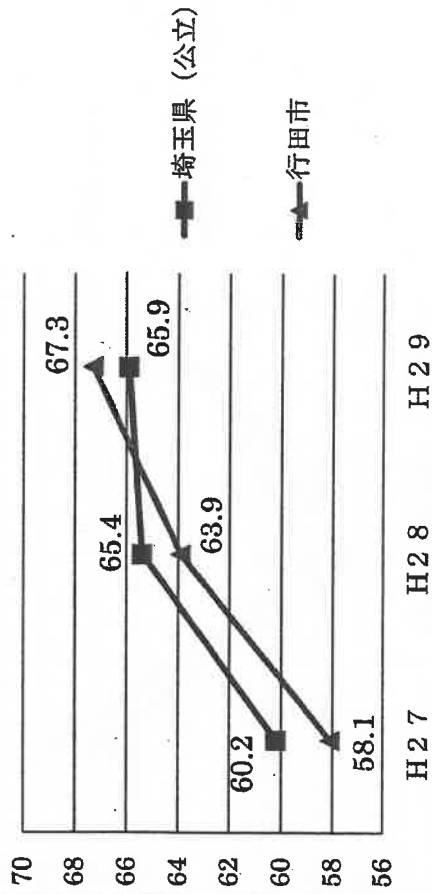
小学6年 算数



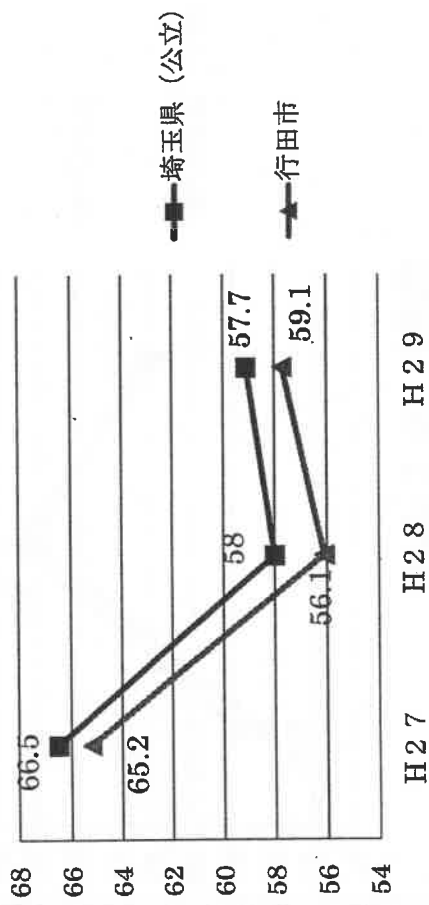
中学1年 国語



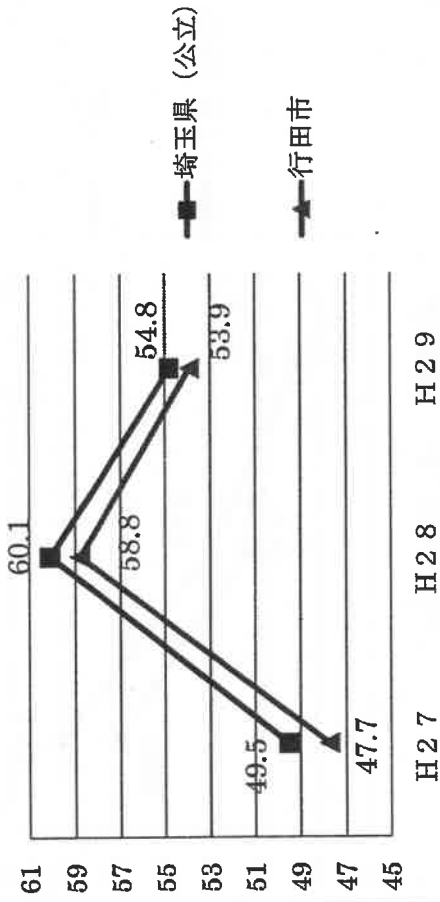
中学1年 数学



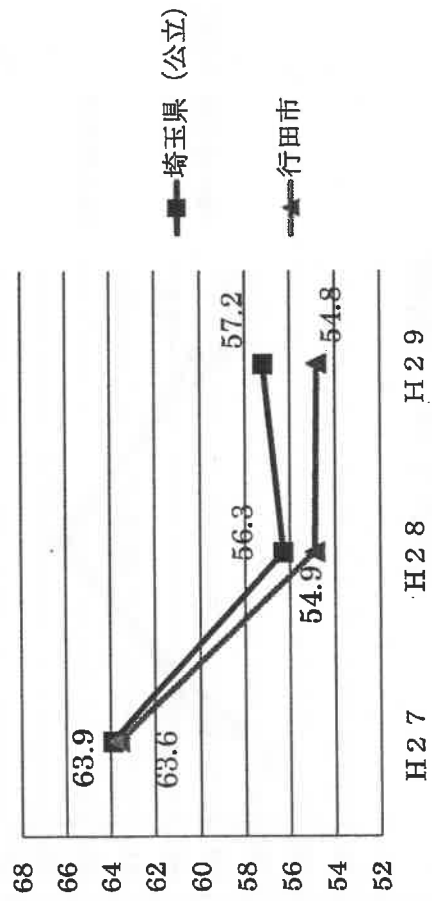
中学2年 国語



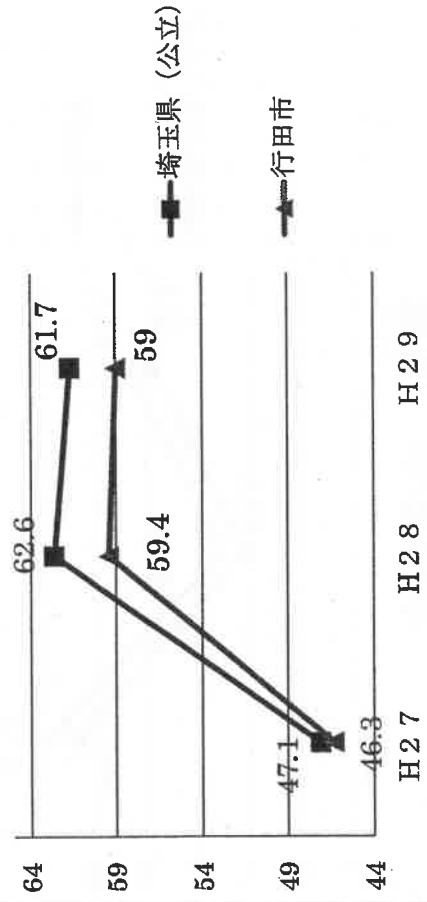
中学2年 数学



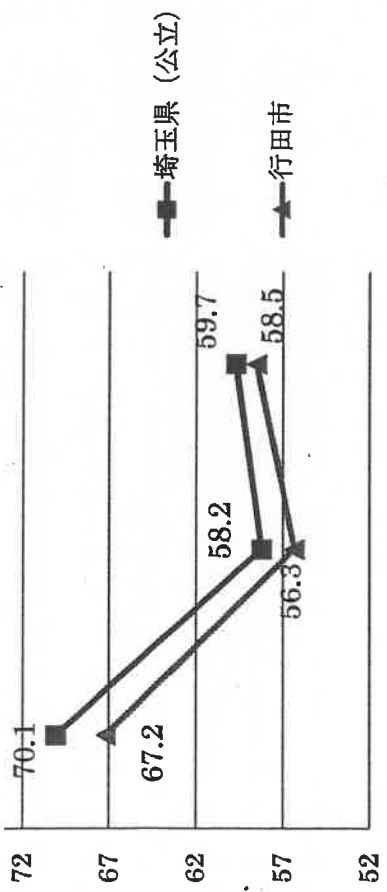
中学3年 国語



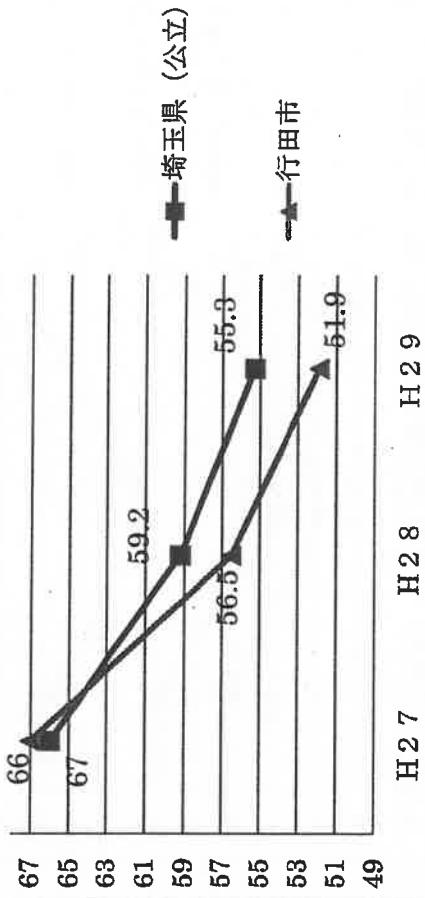
中学3年 数学



中学2年 英語

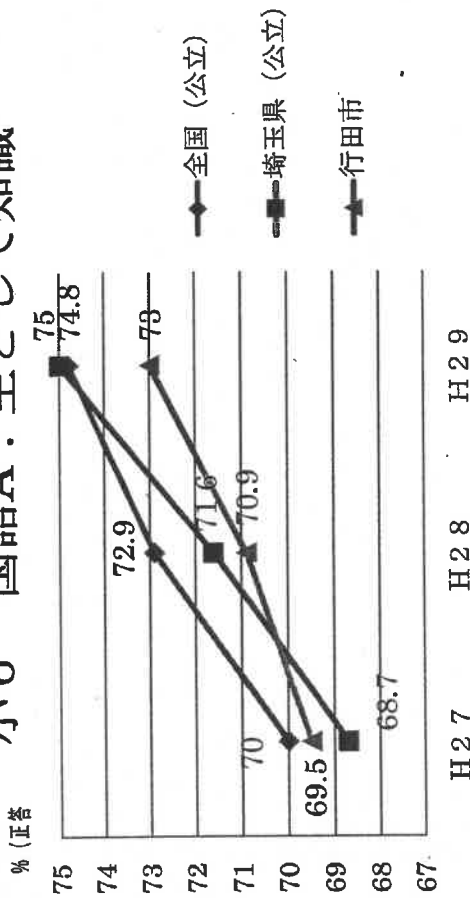


中学3年 英語

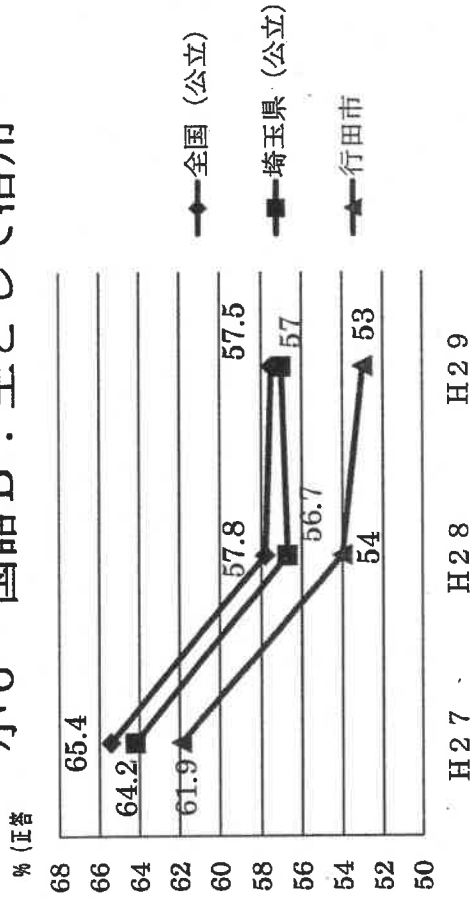


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について《小6》(平成27～平成29年度の比較)

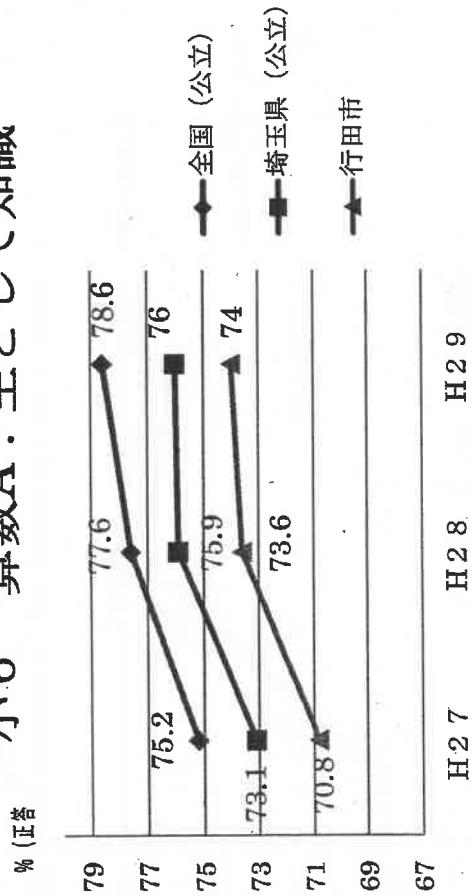
小6 国語A：主として知識



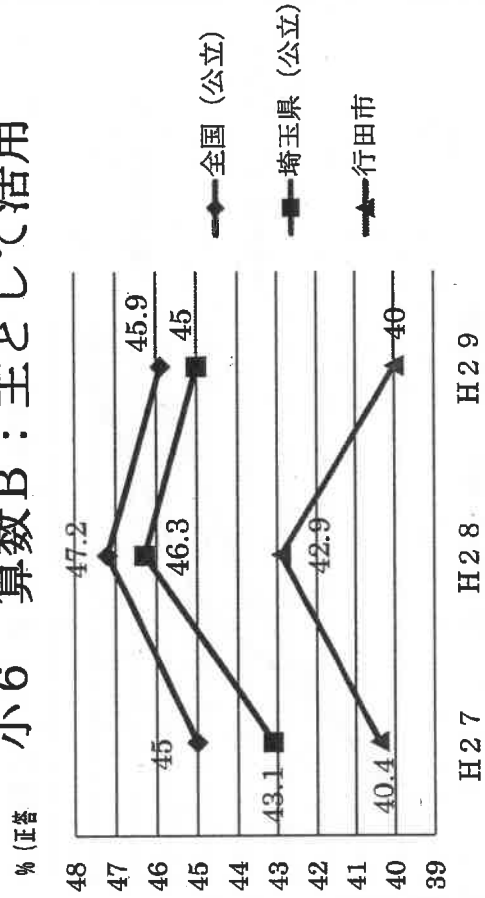
小6 国語B：主として活用



小6 算数A：主として知識

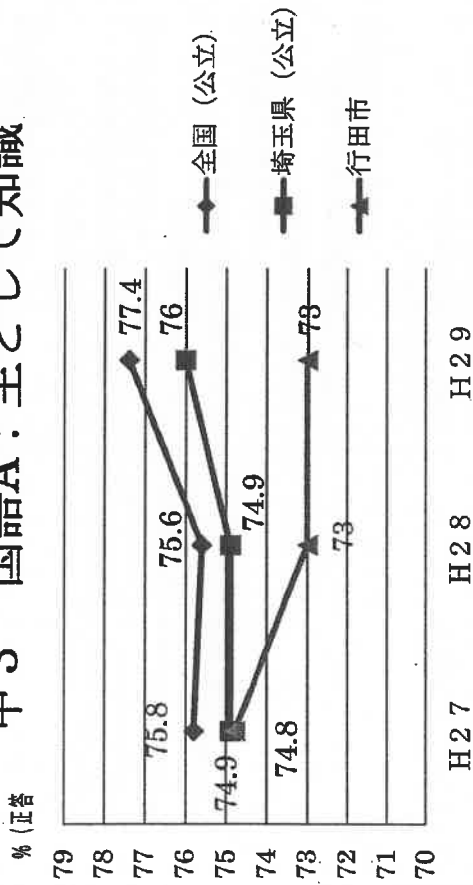


小6 算数B：主として活用

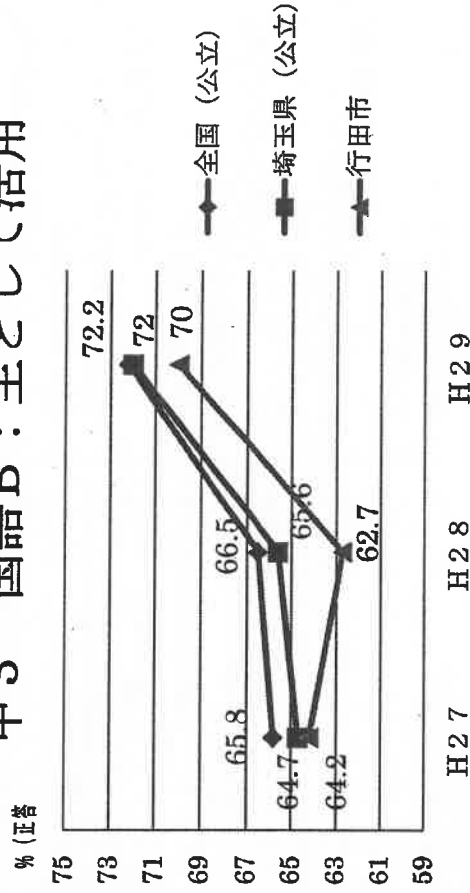


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について《中3》(平成27～平成29年度の比較)

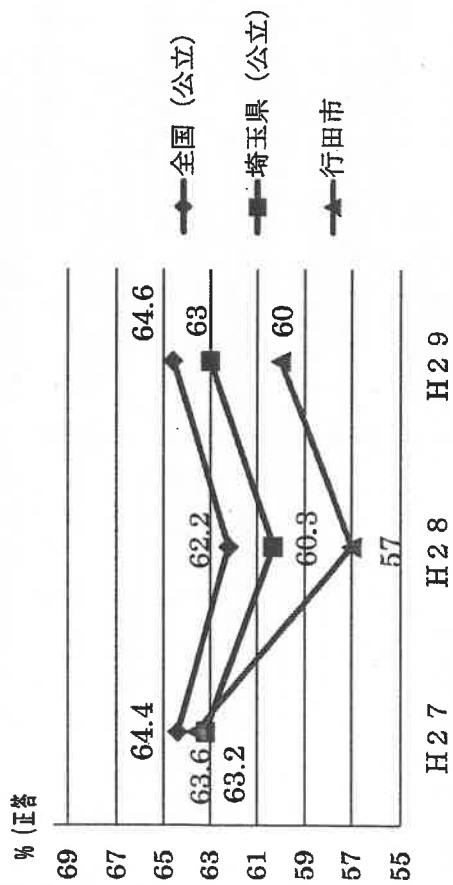
中3 国語A：主として知識



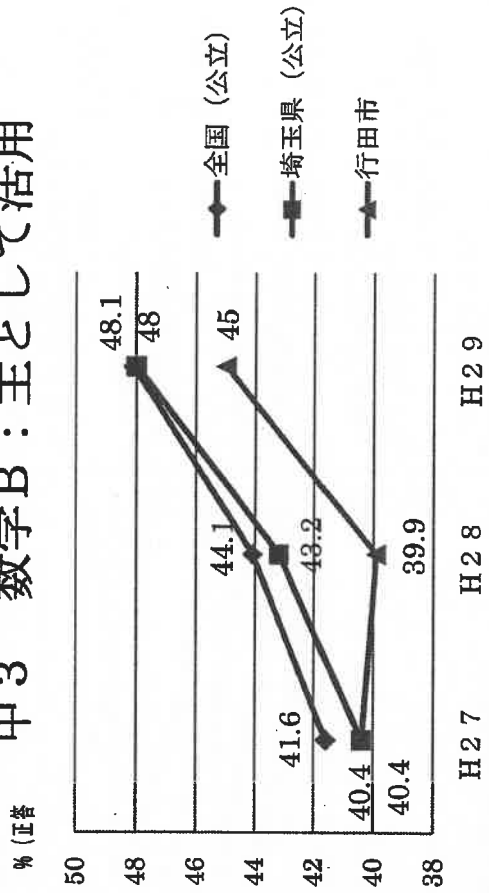
中3 国語B：主として活用



中3 数学A：主として知識



中3 数学B：主として活用

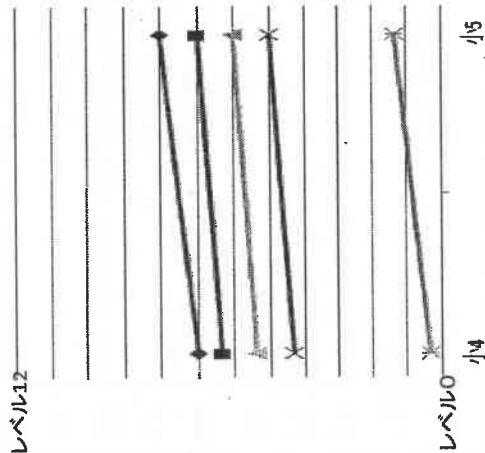


平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力の伸びの状況について<小学校>

学力の伸びの状況一覧【国語】

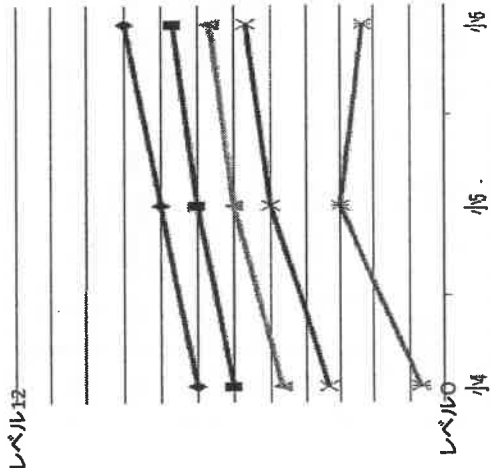
※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

H25入学・小学5年



- ◇最上位層の学力レベル
小4(レベル7-A) →小5(レベル8-A)
- 上位25%層の学力レベル
小4(レベル7-C) →小5(レベル7-A)
- △中間層の学力レベル
小4(レベル6-C) →小5(レベル6-A)
- ×上位75%層の学力レベル
小4(レベル5-C) →小5(レベル5-A)
- *最下位層の学力レベル
小4(レベル1-C) →小5(レベル2-C)

H24入学・小学6年

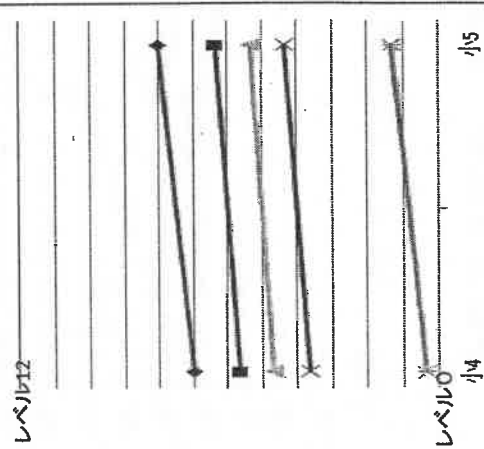


- ◇最上位層の学力レベル
小5(レベル8-A) →小6(レベル9-A)
- 上位25%層の学力レベル
小5(レベル7-A) →小6(レベル8-B)
- △中間層の学力レベル
小5(レベル6-A) →小6(レベル7-B)
- ×上位75%層の学力レベル
小5(レベル5-A) →小6(レベル6-B)
- *最下位層の学力レベル
小5(レベル3-A) →小6(レベル3-C)

学力の伸びの状況一覧【算数】

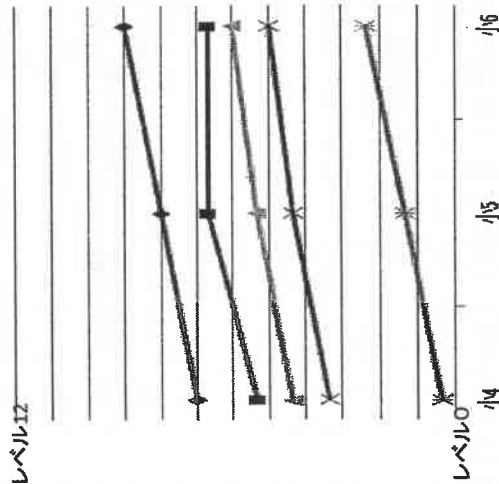
※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)

H25入学・小学5年



- ◇最上位層の学力レベル
小4(レベル7-A) →小5(レベル8-A)
- 上位25%層の学力レベル
小4(レベル6-B) →小5(レベル7-C)
- △中間層の学力レベル
小4(レベル5-B) →小5(レベル6-C)
- ×上位75%層の学力レベル
小4(レベル4-B) →小5(レベル5-C)
- *最下位層の学力レベル
小4(レベル1-C) →小5(レベル2-C)

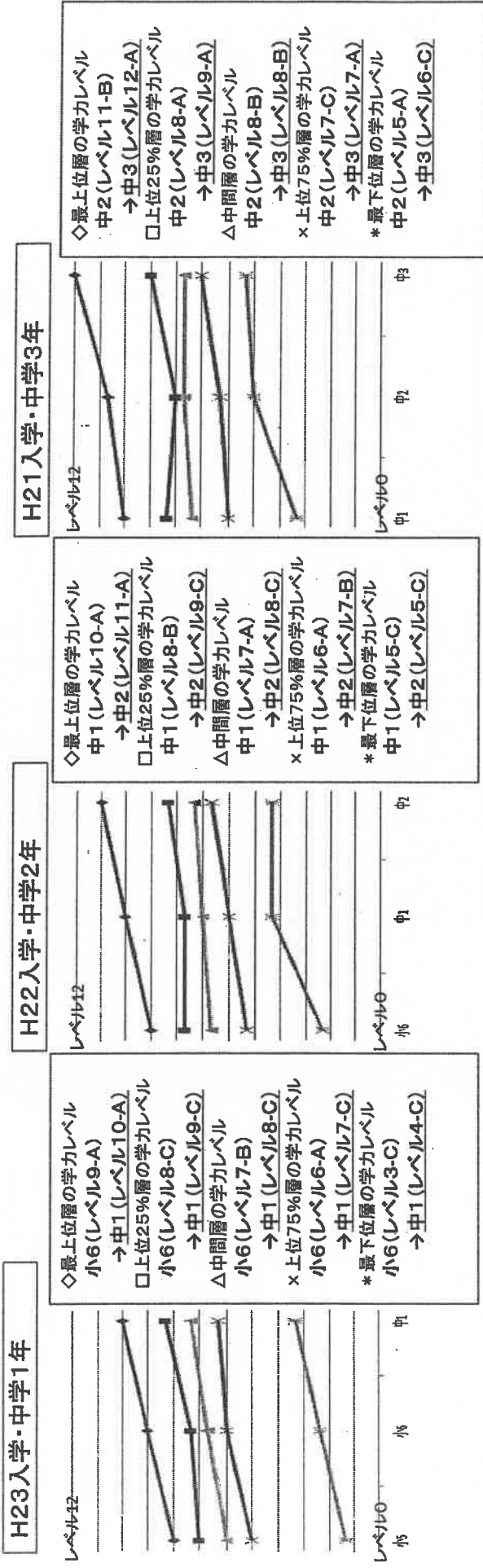
H24入学・小学6年



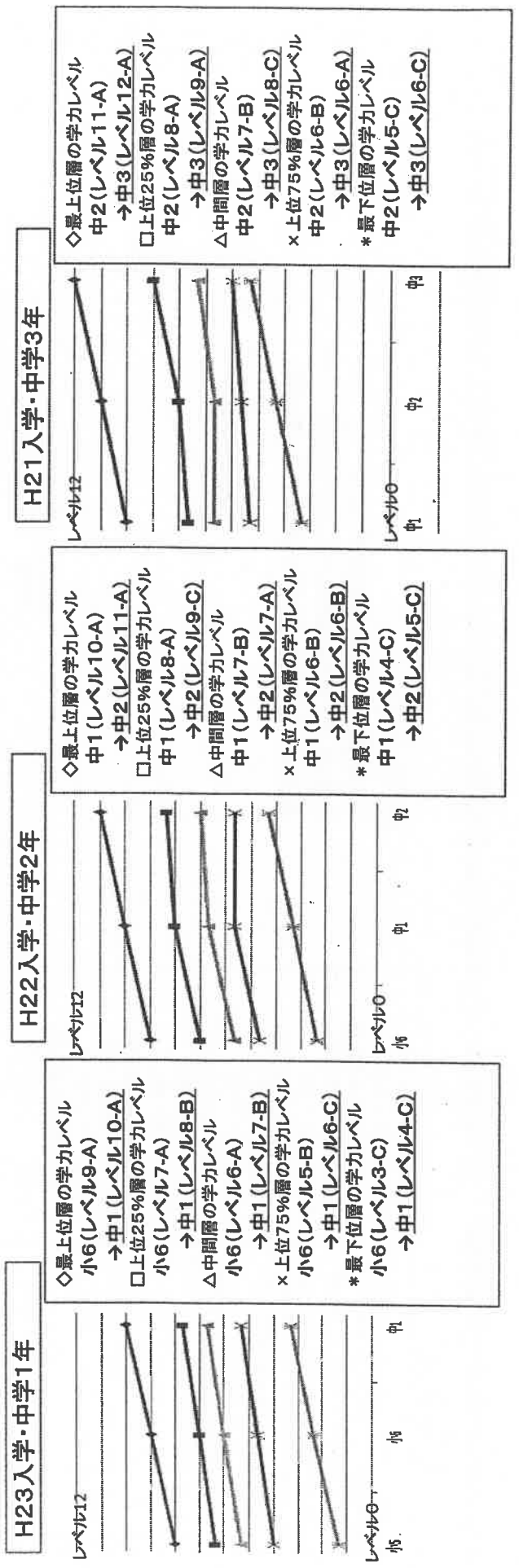
- ◇最上位層の学力レベル
小4(レベル8-A) →小5(レベル9-A)
- 上位25%層の学力レベル
小4(レベル7-B) →小5(レベル7-B)
- △中間層の学力レベル
小4(レベル6-C) →小5(レベル6-A)
- ×上位75%層の学力レベル
小4(レベル5-C) →小5(レベル5-A)
- *最下位層の学力レベル
小4(レベル2-C) →小5(レベル3-C)

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査 学力の伸びの状況について<中学校>

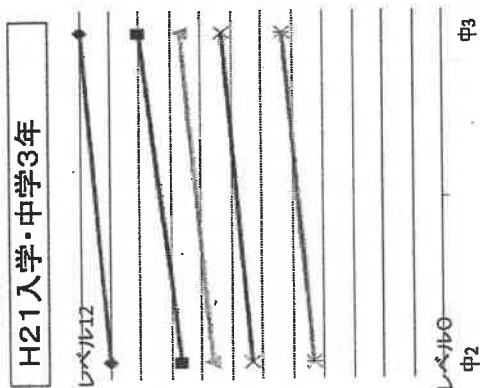
学力の伸びの状況一覧【国語】 ※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)



学力の伸びの状況一覧【数学】 ※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)



学力の伸びの状況一覧【英語】 ※学力レベル…1～12レベル、一つのレベルをさらに(A～C)に分ける。(合わせて36段階に分けられる。)



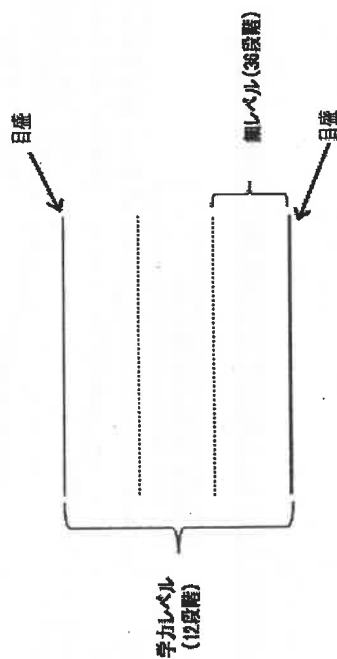
- ◇最上位層の学力レベル
中2(レベル11-A)
→中3(レベル12-A)
- 上位25%層の学力レベル
中2(レベル9-B)
→中3(レベル10-A)
- △中間層の学力レベル
中2(レベル8-B)
→中3(レベル9-B)
- ×上位75%層の学力レベル
中2(レベル7-C)
→中3(レベル8-C)
- *最下位層の学力レベル
中2(レベル5-C)
→中3(レベル6-C)

【グラフの見方】

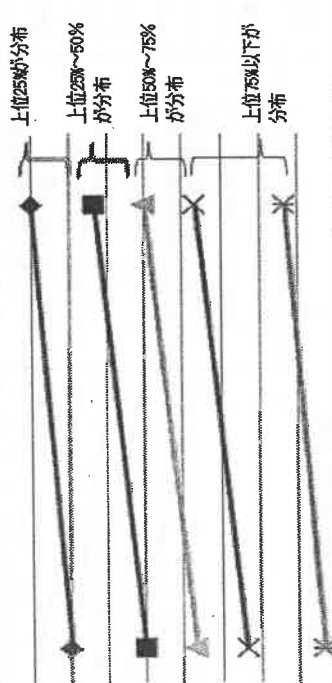
グラフの縦軸は、学力レベルを表しています。

目盛りは、個人結果の学力レベル(12段階)を表しています。

目盛りと目盛りの間は、それぞれ3段階に分かれています。



線の傾きのパターンにより、それぞれの層に属する児童生徒の状況を把握し、前年度の指導等の効果を考える参考とする。



どの分布も右肩上がり	傾きにはらつき①	傾きにはらつき②
上位層、中位層、下位層の、いずれの層の児童生徒も学力を伸ばしている。	上位層に伸びは見られないが、中位層、下位層の児童生徒の学力は伸びている。	上位層は伸びているが、中位層にほとんど変化はなく、下位層の学力は下がっている。

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査（小学校4～6年質問紙調査）
 全国学力・学習状況調査（小学校6年質問紙調査）結果

行田市教育委員会

最も肯定的な回答（あった、できる、思う、している）の値（単位％）

色のついた部分は県・全国平均を下回るもの、（ ）内は県・全国との差（無印は上回る、▲は下回る）

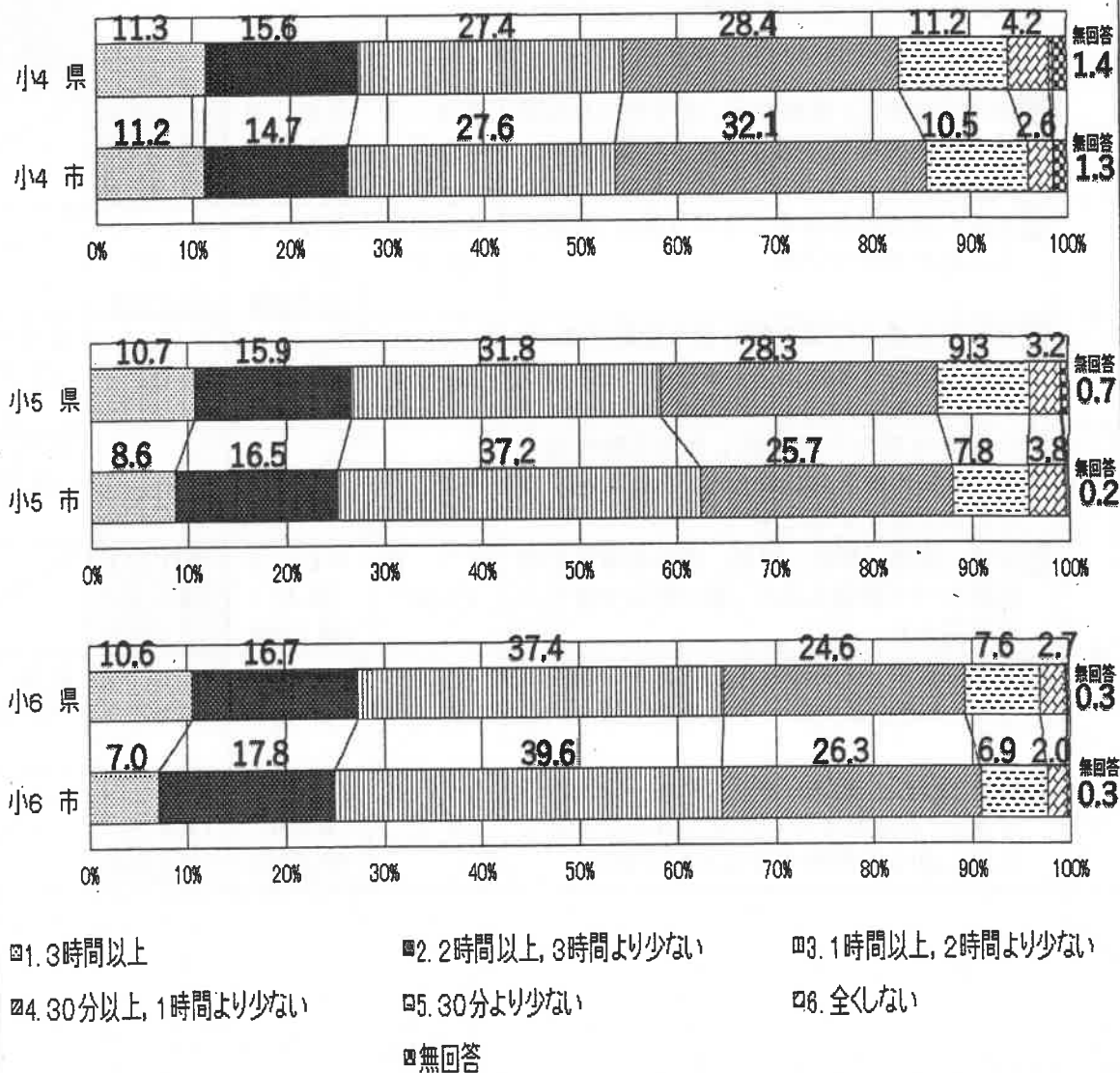
	質問事項	県調査			全国調査
		小4	小5	小6	小6
1	国【児童】授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う				59.5 (0.9)
	国【教員】授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた				62.5 (▲11.7)
2	国【児童】授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う				40.2 (▲0.1)
	国【教員】授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた				37.5 (▲15.0)
3	県授業の始めに、先生から、どうやったら課題を解決できるか考えるように言われた	34.3 (2.3)	35.9 (0.7)	36.3 (▲2.0)	
4	県先生や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができていた	43.2 (2.7)	33.9 (0.1)	34.1 (5.9)	
	国学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き自分の考えをしっかりと伝えていたと思う				41.8 (7.2)
5	国学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う				31.1 (4.2)
6	県授業（国語、算数）では、自分の考えを理由を付けて発表したり、書いたりできたことがあった	47.2 (1.9)	46.3 (0.6)	39.7 (▲1.0)	
	国授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う				23.5 (0.1)
7	県授業（国語、算数）では、グループ活動のとき、一人の考えだけでなくみんなで考えを出し合って解決することができた	55.3 (0.4)	56.8 (▲2.0)	52.3 (▲4.9)	

	質問事項	県調査			全国調査
		小4	小5	小6	小6
8	県学校の宿題をしている	86.6 (▲0.6)	90.1 (1.3) ↑84.6・H28	88.4 (▲0.4)	
	県学校の授業の予習や復習をしている	39.6 (4.0)	42.9 (6.8) ↑34.6・H28	41.6 (5.9) ↑39.3・H28	
	国家で、自分の計画を立てて勉強をしている				37.6 (7.6)

家庭学習に関する項目

9

県学校の授業時間以外に、月～金曜日、一日にどれくらいの時間、勉強をしますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も入る)



平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査（中学校1～3年質問紙調査）
 全国学力・学習状況調査（中学校3年質問紙調査）結果

行田市教育委員会

最も肯定的な回答（あった、できる、思う、している）の値（単位％）

色のついた部分は県・全国平均を下回るもの、（ ）内は県・全国との差（無印は上回る、▲は下回る）

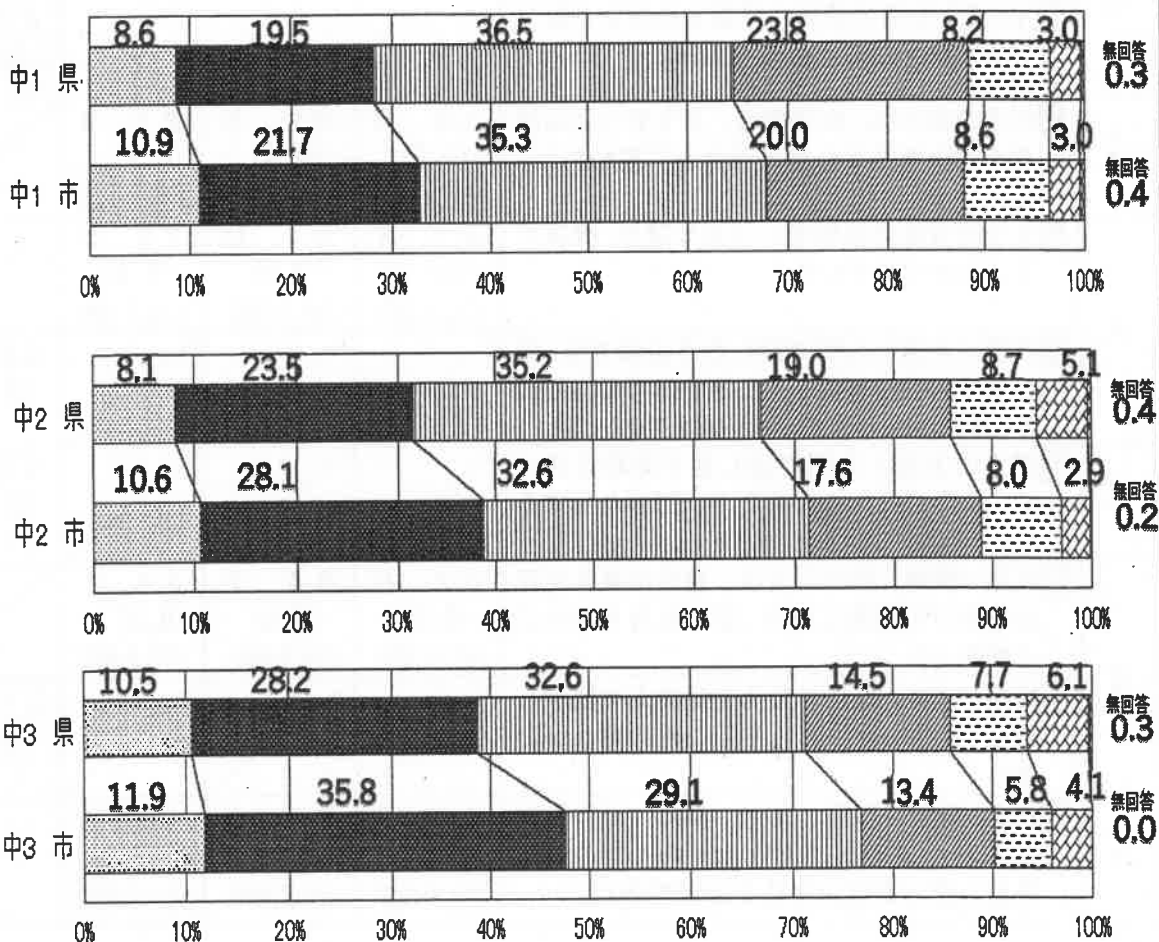
	質問事項	県調査			全国調査	
		中1	中2	中3	中3	
授業に関する項目	1	国【生徒】授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う			54.2 (1.1)	
		国【教員】授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた			50.0 (▲1.4)	
	2	国【生徒】授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う			30.9 (5.6)	
		国【教員】授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた			25.0 (▲18.2)	
	3	県授業の始めに、先生から、どうやったら課題を解決できるか考えるように言われた	46.0 (7.2) ↑41.6・H28	32.5 (2.5) ↓42.6・H28	27.0 (0.2) ↓28.8・H28	
	4	県先生や友達の発表をしっかりと聞き、発表することができていた	41.1 (11.3) ↑32.0・H28	31.0 (7.0) ↓34.1・H28	22.0 (1.3) ↑19.8・H28	
		国学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き自分の考えをしっかりと伝えていたと思う				29.3 (3.1)
	5	国学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う				19.8 (0.1)
	6	県授業（国語、数学）では、自分の考えを理由を付けて発表したり、書いたりできたことがあった	52.6 (6.3) ↑43.2・H28	34.7 (6.4) ↓39.3・H28	34.8 (0.3) ↑33.5・H28	
		国授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う				29.0 (▲1.4)
	7	県授業（国語、数学）では、グループ活動のとき、一人の考えだけでなくみんなで考えを出し合って解決することができた	75.7 (7.0) ↑63.4・H28	53.0 (7.7) ↓67.2・H28	43.0 (▲7.2) ↓51.2・H28	

	質問事項	県調査			全国調査
		中1	中2	中3	中3
8	県学校の宿題をしている	93.4 (4.4) ↑89.0・H28	69.7 (▲1.6) ↓87.5・H28	58.8 (▲3.9) ↓65.1・H28	
	県学校の授業の予習や復習をしている	46.4 (10.7) ↑42.1・H28	30.0 (5.5) ↓38.0・H28	22.7 (3.4) ↓27.6・H28	
	国家で、自分の計画を立てて勉強をしている				20.0 (1.4)

家庭学習に関する項目

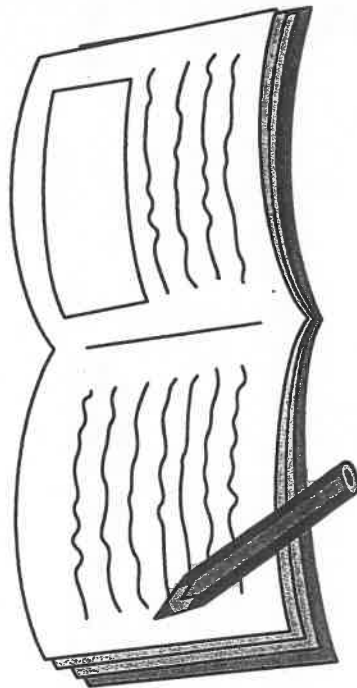
9

県学校の授業時間以外に、月～金曜日、一日にどれくらいの時間、勉強をしますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も入る)



- 1.3時間以上
- 2.2時間以上, 3時間より少ない
- 3.1時間以上, 2時間より少ない
- 4.30分以上, 1時間より少ない
- 5.30分より少ない
- 6.全くない
- 無回答

行田版
板書・ノート指導の手引き



行田市学力向上推進委員会

板書の基本

よい板書の条件

- 1 授業の流れが見える
- 2 「めあて」と「まとめ」が対応している
- 3 1時間の内容が1枚にまとまっている

チェックリスト

<授業中は>

- 「本時のめあて」と「まとめ」が対応している
- 子どもの興味を引き出す教材を工夫している
- ノートをとる時間を決めている
- 前時や次時の内容とのつながりがわかる
- 発問を準備し、子どもの考えを予想している
- 授業で使用しない掲示物を貼らない

<授業の後は>

- 板書の字をでいねいに書いた
- 発問は適切だった
- 教材の工夫で、授業にめりめりがついていた
- 子どもの意見を十分に吸い上げた
- ノートをとる時間が十分だった
- ノートチェックの時間をとった

板書例 1 項目に合ったルールを決める

※子どものノートを使い方とリンクするように板書する。

問題・課題を書く

月/日

〇月〇日(〇)

日直 〇〇

問題

松の子フェスティバルで色画用紙を使います。
1まい23円の色画用紙を3まい買いました。代金はいくらかですか。

しき 23×3

答え 69円

課題

23×3 の計算のしかたを考えよう

問題・課題を書く

子どもの考え方を
見つけさせる

考え方

<Aさん>

10	10	10	1	1	1
10	10	10	1	1	1
10	10	10	1	1	1

$20 \times 3 = 60$ $3 \times 3 = 9$

<Bさん>

$20 + 20 + 20 = 60$
$3 + 3 + 3 = 9$
$60 + 9 = 69$

$20 \times 3 = 60$
 $3 \times 3 = 9$

まとめ

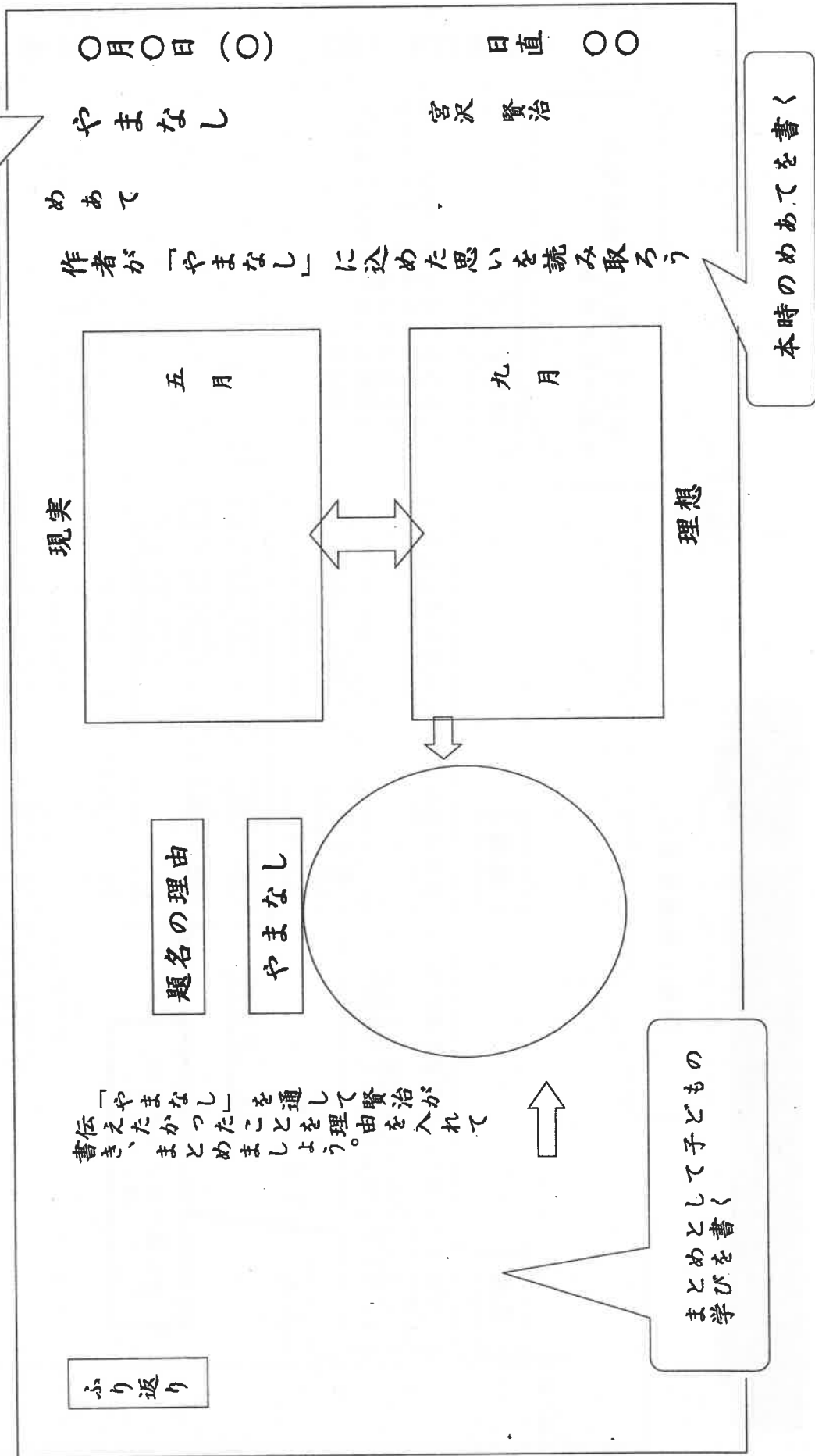
子どもの考えを
引き出しながら
まとめ

同じところ

- 23 を 20 と 3 にわけている。
- $20 \times 3 = 60$ 、 $3 \times 3 = 9$ が入っている。
- 最後に $60 + 9$ でたし算をしている。

板書例 2 黒板とノートの項目・ルールを決める

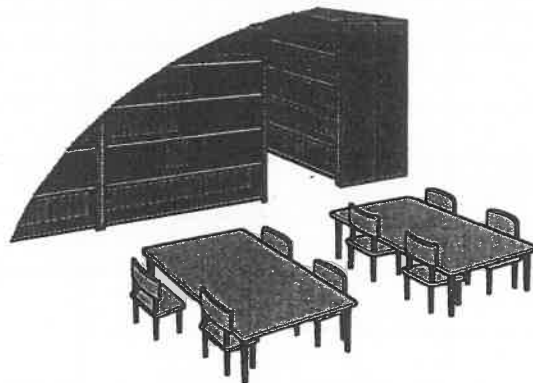
《読むことの単元の例》



国語のノート指導について

< ポイント >

- 1 1時間の授業内にノートに書く場を計画的に位置づけ、書くことに慣れさせる。
- 2 ノートの使い方を定着させることで学年の発達段階に応じて書く量や内容、まとめ方などの工夫を促す。
- 3 教師が板書計画を工夫することで、児童に自らのノートづくりの参考にさせる。
- 4 自分の考えを書かせる。
 - ・ 中心発問に対して自分の考えを書かせる。
 - ・ 自分の立場をはっきりさせて書かせる。
 - ・ 文中から根拠となる記述を抜き出し、どう捉えたかその理由を書かせる。



国語ノート指導の基本

《読むことの単元例》

まとめとして子どもの
学びを書く

月日・単元名・めあてを
作者名を書く

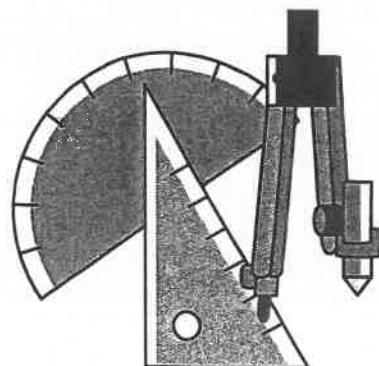
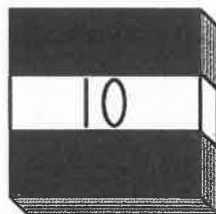
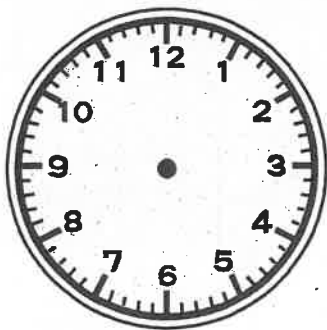
ふ		ま			生	「	め		
り		と			き	村	あ		○
か		め			方	一	て	海	月
え					と	番		の	○
り					・	の		命	日
					・	漁			
					・	師			
					。	で			
						あ			
						り			
						続			
						け			
						た			
						と		立	
						は		松	
						、			
						ど		和	
						の		平	
						よ			
						う		作	
						な			

青で囲む

算数のノート指導について

< ポイント >

- 1 ノートの使い方については学年の最初の時間に確認する。ノートの記入例をノートに貼る。
- 2 ワークシートは、ノートの大きさに合わせて作り、ノートに貼りやすくする。
- 3 授業ノートと計算ノート（ドリルノート）を分けて使用する。
- 4 ていねいに記入させる。
- 5 下敷き、定規を使用させる。



算数ノート指導の基本

1年生は、横版12マス 2年生縦版12マス 3年生以上 1cm方眼の15マスノートを使用する。
学年に応じた使い方をしましょう。

線を書き入れる

月日を書く

4/20 No.〇 ※単元名が入る場合は、書く

問 1 m のねだんが 80 (円) のリボンを、
(問題文) 2. 3 (m) 買いました。代金は (いくら) ですか。
式

分かっていること…青線 聞いていること…赤線
答えの単位…囲む
低学年は、授業でていねいにあつかい、
中学年以降は児童自らができるようにしていく

インデックスを貼る場合

課 計算のしかたを考えよう。 青で囲む

(課題) ※問題と課題が明確でないときもあります。児童が主体となって課題を立てられるようにする。

見 ※解法の見通しを立てる。今までの学習を明確にして、どの既習事項が使えるか書く。

(見当) ⇒主体的に自力解決を進めるためのカギとなる。

青線を入れておく

考えの見出しをつけ、下線を引く

自 0. 1 をもとにして考える。

(考え) まず、0. 1 m のねだんを求める。

1m が 80円 だから
 $80 \div 10 = 8$ 0. 1 m

「まず」「次に」「最後に」などの言葉を使って、順序よくまとめる

次に、2. 3 m のねだんを求める。
2. 3 m は、0. 1 m の 2 3 倍だから、

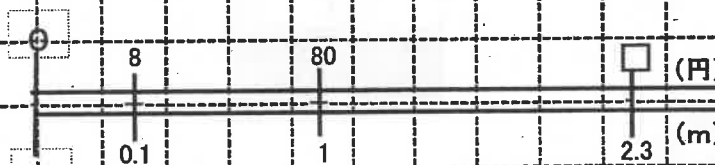
$8 \times 23 = 184$

答えには下線を引く

答え 184 円

友だちの考えを記入する場合

と



図や言葉など様々な表現方法で、自分の考えを深め、友だちに伝えられるようにする

自分の考えが書けたら、以下の4点を確認する

- ①前に学習したどの考えと似ているかな？
- ②言葉や数、式、図、表、グラフを使って考えをまとめているかな？
- ③用語や記号は適切に使えているかな？
- ④結果の理由は明確かな？

話し合いの時には、自分のノートを見せながら説明する
友だちの発表を聞いてつけたすことは、随時書き込んでいく

赤で囲む

ま 小数をかける計算は、0.1をもと
(まとめ) にして整数になおして求めること
 ができる。

キーワードに線を引く

※キーワードを使って、できるだけ児童の言葉でまとめていく。

練
(練習)

※計算だけでなく、新しく学習した考え方や図がある場合は、ノートに残す。

ふ
(振り返り)

※発見したこと、友だちの考えから学んだこと、次に取り組みたいことなどを書く。

数、単位の書き方

基本は、1マス1文字

桁が大きい数や、問題文の数は、1マス2字でも可

単位は、新出練習の時は、1マス1字、中高学年になってきたら、1マス2字

小数点は、マスとマスの間に書く。

例

23 45 00 00 00 4.5
 15 cm 40 0 g 5 kg

計算練習は、1マス1字を基本とする。

①	4	6		②	1	8		③
×	5	3		×	9	1		×
1	3	8		1	8			
2	3	0		1	6	2		
2	4	3	8	1	6	3	8	

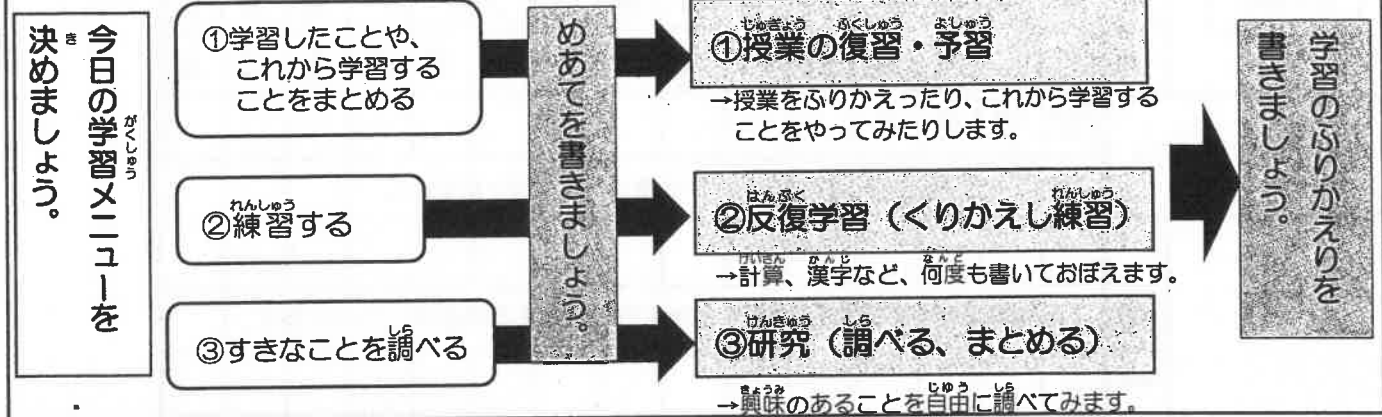
筆算の縦と横をそろえ、一行間をあける

「家庭学習のすすめ」ダイジェスト版

家庭学習にチャレンジしよう

〈小学生用〉 行田市学力向上推進委員会

○取り組む内容（学習メニュー）を決めて、ノートに学習のめあてを書きましょう。
 ○学習が終わったら、学習をふりかえっての感想を書きましょう。



家庭学習ノート 例

☆復習は、小学1年生から続けてやりましょう。

①授業の復習・予習

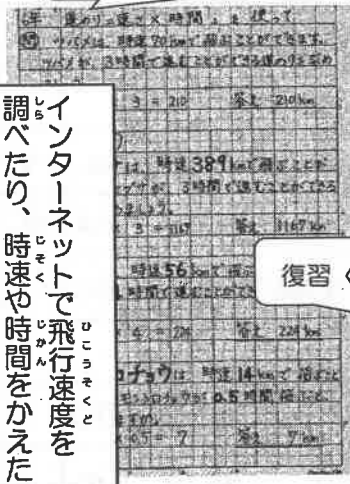


わからない言葉は国語辞典で調べてみましょう。

復習〈国語〉
「漢字の読み方」

インターネットで飛行速度を調べたり、時速や時間をかえたりしてつくることができます。

復習〈算数〉「問題づくり」

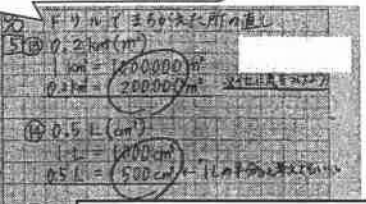


復習〈社会〉
「土地の利用」



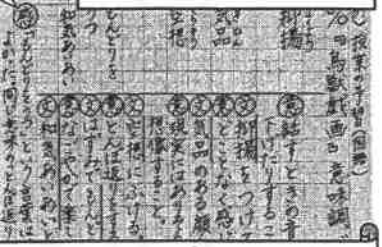
イラストを入れたり、大切な言葉を確認したりしてみましょう。

復習〈算数〉「解き直し」

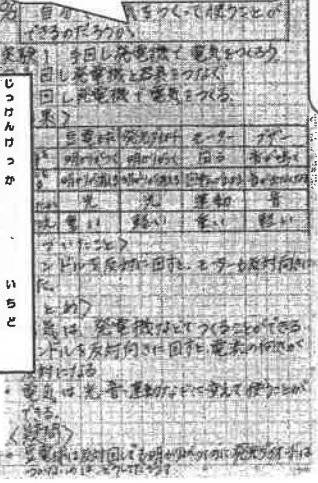


ドリルやテストでまちがえた問題に挑戦してみましょう。

予習〈国語〉
「意味調べ」



復習〈理科〉
「実験結果のまとめ」



実験結果をもう一度確認しながら整理してみましょう。

最後にわかったことや疑問に思ったことなどを書いてみましょう。

☆高学年は、中学校での学習も意識して予習に取り組んでみましょう。
 ☆新しい単元の音読や感想、新出漢字などに取り組みましょう。

② 反復学習(くりかえし練習)



①	2 8 6	②	6	③	3 2 5
+	1 4	-	0 7 8	+	8 7
	1 6 8 6		5 2 2		4 1 2
④	0 2 6	⑤	4 7	⑥	0 4 9
×	7 4	×	0 8 8	×	6 3
	1 0 4		2 8 2		1 4 7
	1 8 2		3 7 6		2 9 4
	1 9 2 4		4 0 4 2		3 0 8 7
⑦	7 8	⑧	3 2 2	⑨	0 4 9
×	3 4	×	4 5	×	6 3
	7 0 2		1 9 1 0		1 4 9
	2 3 4		7 5 2 8		2 9 4
	3 0 4 2		7 7 7 9 8		3 0 8 7

漢字・ひらがな・カタカナ・計算・ローマ字・都道府県名など、何回も練習しておぼえましょう。

※ノートは、しっかりとおぼえるまで書きましょう。

※1・2年生のノート例は、「家庭学習のすすめ」にあります。

③ 研究(調べる、まとめる)

公園で見つけたトンボを昆虫図かんで調べてみました。

慣用句、ことわざ調べでは、言葉の意味や由来を調べてみましょう。

世界の国々について、地図帳やインターネットを使って調べてみましょう。

気に入った新聞記事を使ってみましょう。新聞名、記事の日付を書きましょう。

図を入れると、特ちょうがわかりやすいです。



①	体	②	頭	③	尾
④	脚	⑤	翅	⑥	目
⑦	口	⑧	舌	⑨	足
⑩	腹	⑪	背	⑫	胸
⑬	腰	⑭	尻	⑮	尾
⑯	尾	⑰	尾	⑱	尾
⑲	尾	⑳	尾	㉑	尾
㉒	尾	㉓	尾	㉔	尾
㉕	尾	㉖	尾	㉗	尾
㉘	尾	㉙	尾	㉚	尾
㉛	尾	㉜	尾	㉝	尾
㉞	尾	㉟	尾	㊱	尾
㊲	尾	㊳	尾	㊴	尾
㊵	尾	㊶	尾	㊷	尾
㊸	尾	㊹	尾	㊺	尾
㊻	尾	㊼	尾	㊽	尾
㊾	尾	㊿	尾		

四字熟語を漢字辞典で調べるのも楽しいです。

①	人口	②	面積	③	首都
④	国旗	⑤	言語	⑥	国名
⑦	国語	⑧	国産品	⑨	国産品
⑩	国産品	⑪	国産品	⑫	国産品
⑬	国産品	⑭	国産品	⑮	国産品
⑯	国産品	⑰	国産品	⑱	国産品
⑲	国産品	⑳	国産品	㉑	国産品
㉒	国産品	㉓	国産品	㉔	国産品
㉕	国産品	㉖	国産品	㉗	国産品
㉘	国産品	㉙	国産品	㉚	国産品
㉛	国産品	㉜	国産品	㉝	国産品
㉞	国産品	㉟	国産品	㊱	国産品
㊲	国産品	㊳	国産品	㊴	国産品
㊵	国産品	㊶	国産品	㊷	国産品
㊸	国産品	㊹	国産品	㊺	国産品
㊻	国産品	㊼	国産品	㊽	国産品
㊾	国産品	㊿	国産品		

地図帳では、国の位置だけでなく、国旗・首都・面積・人口なども調べられ

インターネットでは国の有名なものや特ちょうが調べられます。

どんなことが書いてあるのか、内容をまとめてみましょう。わからない言葉は辞典で調べましょう。

自分の感想や意見は、記事の内容と区別してきましょう。

自分だけのノートづくりのヒント

① いろいろなものをはってみましょう。

- 身近にあるもので、ノートを楽しく。
- ・新聞や広告を切り抜いてまとめる。
 - ・本やインターネットで調べた資料を使う。
 - ・シールや写真を使う。
 - ・プリントやドリルのコピーをはる。

② 調べてまとめましょう。

- 自分の好きなこと、知りたいこと、おぼえたいことを調べてまとめよう。
- ・図鑑などで調べて、かき写す。
 - ・言葉や漢字を辞典で調べる。
 - ・観察したり、地図帳を使ってまとめたりする。
 - ・新聞記事を読んで、感想や意見を書く。

③ イラストや図表をかいてみよう。

- 先生や家族、友達に見せるつもりで。
- ・絵日記で、作文の練習をしてみよう。
 - ・オリジナルのキャラクターや吹き出しなどを使い、楽しくまとめましょう。

◎ ノートに〈めあて〉と〈ふりかえり〉を書きましょう。

〈めあて〉
今日のテストでまちがえたところを見直す。

- 1
- 2
- 3

〈ふりかえり〉
よく読めばわかる問題でした。大事なところを見落とさなければいいかなと思います。

今日の家庭学習で、わかったことや次に調べたいこと、思ったこと(感想)を書きましょう。

○取り組む内容（学習メニュー）を決めて、ノートに学習のめあてを書きましょう。
 ○学習が終わったら、学習をふりかえっての感想を書きましょう。

今日の学習メニューを決めましょう。

①勉強したことをまとめる
問題を解いて力をつける

②練習する

③いろいろと調べる

①授業の復習・問題演習・予習

→授業をふりかえったり、問題を解いて力を確かめたり、予習をしたりしましょう。

②反復学習（繰り返し練習）

→計算、漢字、英単語など、何度も書いて覚えましょう。

③発展、探究的な学習

→疑問点やもっと詳しく知りたいことを調べましょう。

学習のふりかえりを
書きましょう。

家庭学習ノート例と重要ポイント

①授業の復習・問題演習・予習

色ペンやライン
吹き出して
分かりやすく。

大切なことは
強調しましょう。

注意点やポイントを自分の
言葉でメモしましょう。

授業で学んだことをもう一度
まとめたり、予習したりしましょう。

①のやり方

$$\frac{1}{R} = \frac{1}{6} + \frac{1}{6} = \frac{2}{6}$$

$$R = \frac{6}{2} = 3$$

$$R_{\text{合計}} = 3 \Omega$$

平均値は102

$$\frac{1}{2} \times 6 \times 6 = 18$$

結果的に
 反対に12時=増え
 が一様になる。

②の理由が答え
 なる!!

③の答えが
 3.14159
 7854

図や絵を使って
分かりやすく。

△ABCの新	△DEFの旧
任意の点	任意の点
角Aの角	角Dの角
角Bの角	角Eの角
角Cの角	角Fの角
角A+B	角D+E
角B+C	角E+F
角C+A	角F+D
角A+B+C	角D+E+F

まとめ→整理→問題演習
をセットで取り組んでみましょう。

算数の学習やパワーアップサポーターについてのアンケート結果

- 1 実施時期 平成29年7月
- 2 対象者 市内小学校第3・4学年児童 (回答者数1, 244名)
- 3 結果

1 あなたは、算数の学習が好きですか。下のア～エの中で、当てはまる記号に○をつけてください。

ア そう思う	<u>58%</u>	}	85%
イ どちらかと言えばそう思う	<u>27%</u>		
ウ どちらかと言えばそう思わない	<u>10%</u>	}	15%
エ そう思わない	<u>5%</u>		

2 算数の学習でパワーアップサポーターの先生がいて、うれしいとかんじるときはどんなときですか。

下のア～エの中で、当てはまる記号のすべてに○をつけてください。(○は、いくつつけてもいいです)

ア パワーアップサポーターの先生に○を付けてもらったり、まちがいについて教えてもらったりしたとき	<u>78%</u>
イ パワーアップサポーターの先生にノートの使い方について教えてもらったとき	<u>23%</u>
ウ パワーアップサポーターの先生に分からないところを教えてもらったとき	<u>70%</u>
エ パワーアップサポーターの先生にもほめてもらったとき	<u>64%</u>

4 考察

- 本市では、85%の児童が算数の学習が好きだと回答している。
- 本市のパワーアップサポーターは、児童をほめながら、分からないところを適切に指導しているということが、本調査からも分かった。

○平成29年度埼玉県学力・学習状況調査の正答率における県平均との差について

①H28・小4 (-1.6割) → H29・小5 (-0.7割) 県との差が縮まった。

②本市における前年度から学力が伸びた児童の割合…小5算数…74.4%